

別記様式(第9条関係)

(その1)

政務活動費収支・実績に関する報告書

令和5年4月20日

(宛先)飯塚市議会議長

会派名
経理責任者名
(又は議員名 田中 武春)

令和4年度 政務活動費収支・実績に関する報告について

飯塚市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項の規定により、次のとおり
令和4年度 政務活動費 収支・実績報告書を提出します。

令和4年度 政務活動費収支・実績に関する報告書

1 収入
政務活動費 480,000 円

【内訳 40,000円×12月】

2 支出 485,273 円

3 残額 0 円



(その2)

(単位：円)

項目	金額	内訳		備考
		科目	金額	
研究研修費	0	会場費	0	
		講師謝金	0	
		出席者負担金・会費	0	
		交通費	0	
		宿泊費	0	
		その他の経費	0	
調査旅費	0	交通費	0	
		宿泊費	0	
		その他の経費	0	
資料作成費	0	印刷製本費	0	
		翻訳料	0	
		事務機器等購入費	0	
		リース代	0	
		その他の経費	0	
資料購入費	0	資料購入費	0	
広報費	485,273	広報紙等印刷製本費	266,200	市政報告
		送料	219,073	
		会場費	0	
		その他の経費	0	
広聴費	0	会場費	0	
		印刷製本費	0	
		その他の経費	0	

備考

- 1 備考欄には主たるものを記入すること。
- 2 領収書その他具体的に支出の内容を明らかにした書面の証拠書類を添付すること。

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 田中 武春)

(広報費、No.1)

領 収 証

令和 4 年 7 月 26 日

田中たけはる連絡所 様

一 金	7	1	3	3	1	0	0	円
-----	---	---	---	---	---	---	---	---



上記の金額領収致しました

但し 市議会報告 5,000部
印刷代

現金・小切手・手形

2022年夏号



筑豊印刷株式会社
代表取締役 吉田 敏浩

〒820-0005 飯塚市新飯塚24番35号 TEL (0948) 22-0911(代)
FAX (0948) 22-8307

領収書

田中武春 様

[別納引受]
区内特別基 (定)
@73 1,801通 ¥131,473

小 計 ¥131,473

郵便物引受合計通数 1,801通
課税計 (10%) ¥131,473
(内消費税等 ¥11,952)
非課税計 ¥0

合計 ¥131,473
お預り金額 ¥132,000
おつり ¥527

印紙税申告納
付につき麴町
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2022年 7月27日/17:27
発行No. 220727A8433 端N00箱31
連絡先: 飯塚郵便局
TEL: 0570-074-030

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 田中 武春)

(広報費、No.2)

領 収 証

令和 5 年 1 月 11 日

田中 武春 様

一 金	1	3	0	1	0	0	円
-----	---	---	---	---	---	---	---



上記の金額領収致しました

但し 印刷代
市議会報告 5000部

現金・小切手・手形

2023年冬号



筑豊印刷株式会社
代表取締役 吉田 敏浩

〒820-0005 飯塚市新飯塚24番35号 TEL (0948) 22-0911(代)
FAX (0948) 22-8307

領収書

田中 武春 様

[別納引受]
区内特別基 (定) 22.0g
@73 1,200通 ¥87,600

小 計 ¥87,600

郵便物引受合計通数	1,200通
課税計 (10%)	¥87,600
(内消費税等)	¥7,963
非課税計	¥0

合計	¥87,600
お預り金額	¥90,000
おつり	¥2,400

印紙税申告納

付につき廻町

税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2023年 1月12日 13:23
発行No. 230112A5763 端N00箱32
連絡先: 飯塚郵便局
TEL: 0570-074-030



田中たけはる

市政報告

〒820-0076 飯塚市太郎丸907-2
TEL/FAX 0948-28-3092

田中たけはる事務所
会派 友和クラブ

◆6月定例会（6月11日～24日）

今定例会では、14億579万円を増額する本年度一般会計補正予算など19議案を可決、承認、同意しました。私は、6月17日に「ふるさと納税」について、一般質問を行いました。質問の概要は次のとおりです。

○ふるさと納税について……………

〔田中〕

ふるさと納税の制度スタート時からの、本市の寄付件数及び寄附額の状況について。

〔部長〕

制度運用が始まった平成20年度から参加している。14年間の合計は寄附件数137万4,687件、寄附総額は165億8,838万3,404円となっております。

〔田中〕

飯塚市民の方が、他の自治体に寄附された金額について。

〔部長〕

他の自治体に寄附した実績については、令和2年度は3,316名で約3億1,213万円。令和3年度は4,608名で約3億6,472万円となっております。

〔田中〕

ふるさと納税では、寄付者が確定申告をしなくても税の控除を受けることが出来るワンストップ特例制度があるが、どのような仕組みになっていますか。

〔部長〕

この特例制度は、確定申告の不要な給与所得者等がふるさと納税を行う場合、ふるさと納税を行う先の自治体数が5団体以内であれば、確定申告を行わなくても、寄附金控除を受けられる仕組みです。

〔田中〕

ふるさと納税の維持向上を図る今後の取り組みについて。

〔部長〕

新型コロナの影響による巣ごもり需要の効果もあって、現在のところ好調を維持できてはおりますが、先が見込めない点もございます。大都市でのPR活動や、ハンバーグに次ぐ魅力ある返礼品の開発などに取り組みまして、ふるさと納税の維持向上を図って参りたい。

〔田中〕

今後も、ふるさと納税寄附額の維持向上を目指し、全国1位を目標に取り組んで頂くよう要請するとともに、返礼品を提供している事業者に対する補助制度など、経済的支援も検討し、地域経済の活性化に繋げて頂くことを要望します。



◆ 予算特別委員会 (3月11日～15日)

令和4年度当初予算の
概要(主な事業)

一般会計

809億4,600万円

予算規模は過去最大

●新型コロナウイルス感染症対策

(単位:千円)

市民生活・活動の維持事業	661,917	ワクチン接種経費、医師等謝礼金、会場設営など
事業継続・雇用維持事業	459,120	応援券発行、相談・貸付、応援資金など
新たな暮らしスタイル事業	141,329	IT導入補助金、医療デジタル化補助金など
市役所等の機能維持事業	4,256	オンライン環境、モバイル端末等の整備など
その他	2,304	行政アドバイザー謝礼金、消耗品、修繕費など

●人権・市民参画・行政経営

地域コミュニティ事業	48,607	まちづくり応援・協議会等の補助金など
交流センター等の整備事業	489,588	旧目尾小グラウンド工事、二瀬・幸袋等の工事調査など
ITを活用した業務改善等	28,307	自動応答サービス、電子決済・入札、通信運搬費など
自主財源確保事業	10,678,827	ふるさと応援返礼品、広告料、基金積立金など
地域発信・情報化事業	12,585	地上デジタル使用料、ラン整備委託料など

●健康・子育て

子ども家庭の見守り事業	16,244	家庭支援員・虐待専門員の人件費、産後ケア事業など
保育士確保と設備の整備	884,499	保育士補助者雇用、楽市・平恒保育所工事など
社会保障・セーフティー事業	14,571,952	生活困窮者支援、生活・住宅・介護・医療扶助費など
健康づくり事業	77,347	運動・スポーツ促進、ヘルスケア委託料など

●地域経済

企業誘致・産業と雇用対策	137,606	企業立地促進、企業誘致推進、雇用創造負担金など
商業の振興	18,577	特産品ブランド化、筑前茜染、商店街・空き店舗補助など
農林業の振興	60,285	新規就農支援、鳥獣被害対策、市有林管理委託料など
観光の振興	39,626	観光協会負担金、デジタル観光推進事業など

●教育・文化

ICT教育	158,831	小中学校ICT教育推進、修繕・通信・備品費等事業など
本物・未来志向の体験学習	21,156	穂波庁舎改修、教育支援業務、器具費など
スポーツ振興を図る施設	1,635,101	新体育館等建設、市民公園施設、グラウンドゴルフ事業など
文化財や施設の整備	853,755	文化会館改修、嘉穂劇場の管理、山城サミット事業など
生涯学習施設の整備	38,396	コミュニティセンター改修、図書館整備事業など

●都市基盤・生活基盤・自然環境

災害・減災対策	58,543	避難所の感染対策物資等の購入(32施設)事業など
浸水対策事業	603,693	鯉田遊水地新設、熊添川調整池新設、庄司川浸水対策など
菰田・堀池活性化事業	799,611	旧卸売市場整備、飯塚駅整備、西町天道線整備事業など

○議員定数4減撤回「現行28に戻す条例改正案可決」

来春の改選時から定数4減(24)を決めていた条例を撤回し現行の28を維持する条例改正案が賛成15、反対12で可決された。「定数28を維持」する審議は、賛否双方で討論が行われ、賛成派は「多様な意見を議会に届ける必要がある」などで、反対派は「自分たちで決めたことを覆すのは市民を裏切る行為」と主張した。私は、3年前の議決に責任を持つべきであると考え、定数を28に戻す条例改正案に反対しました。

2023年4月の市議会議員選挙は「定数28」で実施されることとなりました。

◆3月定例会(2月22日～3月18日)

今定例会では、2022年度一般会計当初予算など26件、教育委員会に大隈恵子氏(58)を再任するなど追加提案された人事案24件、オンラインを活用した委員会の実施を可能にする市議会委員会条例改正案など2議案と意見書3件を可決・承認しました。

私は、3月1日に本市の施政方針に対し、会派を代表して、質問を行いました。

- 人権教育・啓発実施計画について
- ワークライフバランスについて
- 公共施設等の最適化について
- 高齢者が安心して暮らせる環境について
- 企業誘致について
- 公営競技事業について
- 観光振興について
- 学校教育について
- 菰田・堀池地区活性化について

※質疑・答弁の概要については、市ホームページの議会議事録をご参照ください。



◆筑穂保育所新園舎 5月開園

旧筑穂保育所は、昭和54年に建設され40年以上が経過し、老朽化が進んでいる状況であり、児童の保育環境の改善を図る必要と近年の保育需要に対応するため、新園舎の建設を行いました。新園舎は、筑穂中学校のサブグラウンドに建設し、広大な敷地に、平屋建てで園庭も広く、園児も伸び伸びと保育を受けることができるようになりました。



◆グラウンドゴルフ場(平恒)整備事業について

グラウンドゴルフは、子供から高齢者まで手軽に楽しむことができるスポーツであり、特に高齢者には人気の高いスポーツです。飯塚市では、市民のスポーツ活動促進とともに、健康長寿社会、健康寿命延伸のため、健康遊具等を備えた拠点となるグラウンドゴルフ場整備に着手します。

令和6年度のオープン予定です。



◆活動報告



4月6日 椋本校区地域・学校の安全・安心活動に参加。



4月10日 部落解放同盟飯塚市協議会定期大会に参加。



4月16日 筑穂保育所新園舎施設案内会に参加。



4月23日 飯塚市部落解放研究集会人権フェスティバルに参加。



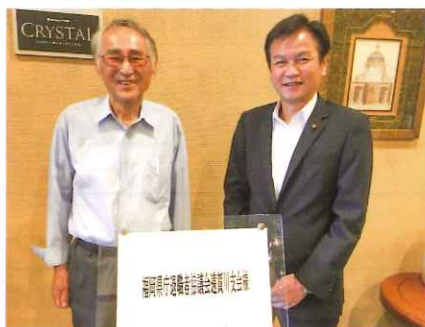
4月29日 第93回遠賀川メーデーに参加。



5月8日 自治会用排水路清掃作業に参加。



5月14日 ジェンダー平等推進及びハラスメント学習会に参加。



6月29日 退職者協議会遠賀川支会定期大会に参加。



7月2日 「同和問題啓発強調月間講演会」 「助けてと言えるまち」に参加。

◆議会を傍聴しませんか？◆

市議会では、皆さんの身近な問題が話し合われています。どなたでも本会議や委員会を傍聴することができますので、希望される方は市役所本庁7階へお越しください。

車いすご利用の方もそのままご入場いただけます。また、耳の不自由な方のための手話通訳も行っています。通訳が必要な方は、事前に議会事務局へご相談ください。

市政への知識を深め、身近に感じるためにも、皆さんの傍聴をお待ちしています。



お困りのことや
ご相談がありましたら
何なりと事務所へ
ご連絡ください

連絡先

田中たけはる事務所

〒820-0076 飯塚市太郎丸907-2
電話/FAX : 0948-28-3092
携帯 : 090-2513-2555



田中たけはる

くらしの声を市政に!

活動報告

〒820-0076 飯塚市太郎丸907-2
TEL / FAX 0948-28-3092

田中たけはる事務所
会派 友和クラブ

◆4年間の主な取り組みについて

○高齢者福祉について

令和2年12月に「ふれあい訪問収集」について一般質問させていただきました。質問するにあたり、現場で勤務している職員の方より、数回の聞き取りと意見等を伺いながら市民に対する啓発と質の向上を求めました。この「ふれあい訪問収集」とは、高齢者や障がいのある方が家庭ごみをゴミステーション等に持ち出すことが困難な世帯を対象に、戸別訪問をしてごみを収集するとともに安否確認も行なうという制度です。

市からは、今後、高齢化が進むことから制度の広報周知を行うとともに、職員の配置や車両の対応を進めて行くと回答を得ています。

近年では、飯塚地区で106世帯、穂波地区15世帯、筑穂地区9世帯、庄内地区7世帯、穎田地区5世帯が利用されています。

○人権行政について

毎年、12月の「人権週間」に合わせて、同和問題について関係団体と協議しながら取り組みを行っています。私は、立岩、穂波、筑穂地区の人権啓発センターの現状は老朽化が進んでいることから、高齢者や障がい者が使用しやすい施設の環境整備(エレベーター設置)について質問しました。

市からは、高齢者の使用や、障がい者差別解消法の趣旨目的から、エレベーターなどの設置は必要であると捉えておりますが、各施設とも老朽化が進んでいることから、国・県の補助金の確保に努めながら早急に整備計画を策定する必要があると回答を得ています。

○生活環境について

市民から、200号バイパス(太郎丸二区交差点)の市道の路幅が狭く、バイパスからの左折車と信号待ちの車で接触事故が多発していることから、道路改良工事の要望があり令和2年に地元自治会と関係団体との協議をすすめ、市に対し、太郎丸・相田線の道路改良工事、舗装工事及び交差点の感知器移設工事を求めてきました。県警の許可に時間がかかりましたが、令和4年7月27日に工事完了しました。



◆ 4年間の活動報告

○地域活動関係



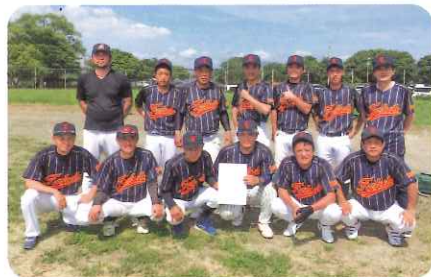
自治会敬老会で挨拶



お地蔵様植木選定作業



用排水路清掃作業



旧穂波地区自治会対抗
ソフトボール大会



棕本校区地域・学校の
安全・安心活動



自治会集会所の清掃作業



自治会敬老会でお弁当と
お茶の配布作業



第8回飯塚総合文化祭
穂波交流センター



飯塚市戦没者追悼式



穂波地区人権講演会「人生修行の旅」



障がいのある人の人権問題講演会



飯塚消防署岩崎出張署落成式

○団体活動関係



自治労第92回定期大会



列島クリーンキャンペーン
(勝盛公園)



男女共同参画推進ネットワーク
「ホップの会」



第93回遠賀川メーデー



県本部現評定期総会



部落解放同盟飯塚市協議会
定期大会



退職者協議会遠賀川
支会定期大会



ジェンダー平等推進及び
ハラスメント学習会



同和問題啓発強調月間講演会

○研修・学習活動関係



筑穂保育所新園舎施設案内会



福祉文教委員会行政視察
(兵庫県明石市)



ポスト過疎法の行方と
関連法制の学習会



コミュニティ交通運行計画に関する
説明会



全国市議会議長会研究フォーラム
in長野



部落解放・人権確立全九州研究集会

お困りのことやご相談がありましたら
何なりと事務所へご連絡ください

連絡先

田中たけはる事務所

〒820-0076 飯塚市太郎丸907-2

電話/FAX : 0948-28-3092 携帯 : 090-2513-2555

◆12月定例会（11月30日～12月16日）

今定例会では、47億5,718万円を増額する本年度一般会計補正予算案など38議案を可決・承認しました。

○体育館観覧席「官製談合」疑惑調査へ

最終日16日、来年4月開館予定の総合体育館への移動式観覧席納入について「官製談合などの疑いがある」とした請願を受け、調査特別委員会(百条委員会)を設置しました。

請願によると男性職員が今年2月、市内の飲食店で業者と市議を含む計4人で会食していたと指摘。会食にいた業者は5月の指名競争入札で観覧席納入業務を落札した。

片峯市長は百条委員会設置を受け、「議決をしっかり受け止めたい」市は官製談合等が行われない仕組みや決裁規定を有していることなどを、市民の理解が得られるよう説明していく。とコメントしています。

私は、会食した職員については、利害関係者と共に飲食することを禁じている。「市職員倫理条例」に違反する行為であり、一定の処分が必要と考えます。もし、官製談合があるとすれば犯罪であり、百条委員会よりも警察などが調べるべき案件である。と考え、百条委員会の設置を求める請願については反対しました。

12月6日(火)に「人権行政について」、一般質問を行いました。

質問の概要は次のとおりです。

○人権行政について

「田中」

「飯塚市部落差別をはじめあらゆる差別の解消の推進に関する条例」を踏まえ、市民に対する周知・啓発と人権相談事業について

「部長」

「同和問題啓発強調月間」「部落解放研究集会」での講演会や各自治会での研修会など市民啓発に取り組んでおり、12月の人権週間に合わせ、人権啓発冊子を毎年作成し全戸配布するなど周知に努めています。

また、相談事業について、専用の「人権相談ダイヤル」を設置し、人権啓発センターや各交流センターに「相談出張窓口」を設置するなど、あらゆる差別について相談に応じています。

「田中」

人権尊重のまちづくりを進めていくことは、本市として重要。人権の街いいつかを目指すため市長として差別解消に向けた「認識と決意」について

「市長」

住みたい街の原点は、部落差別をはじめあらゆる差別のない街、これが基本です。これからも、啓発・教育に力を入れていくとともに、市民一人ひとりが価値観を持っていただくためにも、部落差別をはじめあらゆる差別が解消できるよう努めてまいります。

「田中」

偏見や差別は他人の人格や尊厳を傷つけるものであり、決して許されないものです。一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指すためにも、本市が進める人権啓発活動や人権相談事業等の更なる充実と強化を要望します。

